

## 住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する調査の中間報告(第2回)

日本サステナブル建築協会は平成28年度までに、断熱改修を予定する住宅について1,680軒、3,441人の改修前調査を実施するとともに、断熱改修を実施した住宅について403軒、676人の改修後調査を実施した。

得られたデータに基づき検証を行ったところ、**住宅室内環境と血圧など健康関連事象との関連が確認された。**

知見-1: 個人属性、生活習慣、室温から血圧を推計するモデルを作成。起床時の室温の低下による血圧上昇への響は、高齢になるほど大きい。

知見-2: 室温の低い家に住む人ほど、起床時の血圧が高血圧となる確率が高い。

知見-3: 室温の低い家に住む人ほど、動脈硬化指数と心電図異常所見が有意に多い。

知見-4: 断熱改修後に起床時の血圧が有意に低下。

知見-5: 就寝前の室温が低いほど、夜間頻尿リスクが有意に高い。

知見-6: 断熱改修後に夜間頻尿回数が有意に減少。



情報提供: 国土交通省

## 住宅ストック事業ブランド「Livness(リブネス)」誕生

大和ハウスグループ7社は、既存住宅の売買仲介、買取再販、リノベーション・リフォームなどの住宅ストック事業を強化するため、**グループ統一の新ブランド「Livness(リブネス)」を1月17日、立ち上げた。**「リブネス」の誕生を機に、グループ各社が取り組んでいる住宅ストック事業に関連する総合窓口を新たに設け、全国のお客さまからのご相談やご要望に応じます。全国に展開する営業拠点網や不動産仲介ノウハウ、点検・リフォーム技術など、グループで保有する経営資源を最大限活用し、お客さまに一气通貫のワンストップサービスを提供。

### ポイント

1. 大和ハウスグループ各社のノウハウを活かした総合提案
2. 地域の地元不動産業者との提携などで全国対応ネットワークを構築
3. 既存住宅の価値を維持するための新たな仕様を新設
4. VR(バーチャルリアリティ)の技術を活用した内見サービスを導入

情報提供: 大和ハウス工業

## “セラミックトップ”が人気の“料理を楽しむキッチン”を一新

LIXILは、“セラミックトップ”を採用し“料理を楽しむキッチン”として2015年に発売した「リシェルSI」を一新、人気のセラミックトップの新色追加や、新たなハイブリッドクォーツシンクの搭載など、より多彩なキッチンコーディネートが楽しめる**新「リシェルSI」を2018年3月1日に発売します。**

新「リシェルSI」では、“LDKをトータルでコーディネートしたい”というお客さまのご要望に、より幅広く

お応えするため、人気のセラミックトップに新たに2色(グレースベージュ、グレースライトグレー)追加し、全6色をラインアップしました。さらに、従来ステンレスのみの設定だったシンクには、セラミックトップの色に合わせてコーディネートできる“ハイブリッドクォーツシンク”3色(コズミックグレー、シャンパンベージュ、シェルホワイト)を設定しています。



情報提供: LIXIL